

令和元年度事務事業実績評価表

1 事業概要

		課名	環境課	事業No.	154	
事務事業名		会計	一般会計			
		事業区分	政策	実施区分	継続	
		開始		終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称		
	戦略計画					
	分野別計画		飯田市環境基本計画（21'いいだ環境プラン）			
			飯田市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画			
			飯田市分別収集計画			
	法令・例規等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律			
		循環型社会形成推進基本法				
			容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律			
事業目的		対象	市民			
		意図	リデュース（発生抑制）、リユース（再使用）、リサイクル（再生利用）の推進			

2 事業内容

1年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
		前年度末に制作し全戸配布を行った「ごみ出しガイドブック」が好評で、市民課窓口、各自治振興センターにおいて当初在庫していた予備分が払底し、本年度中計2,000部の増刷を行って対応しました。3Rの周知浸透に効果が期待されます。稲葉クリーンセンターから発生する焼却灰のリサイクル処理を令和元年12月から開始しました。最終処分場の延命と環境負荷の低減に大きく寄与します。新たな情報ツールとして、スマートフォンを用いた「ごみ分別アプリ」の試験運用を開始しました。次年度当初から周知を拡大し、広くご利用いただきます。	3R周知啓発関連経費					3,761
		ごみ処理費用負担制度関連経費					18,197	
		焼却灰リサイクル事業費					24,693	
		資源回収事業補助金					2,199	
		容器包装リサイクル回収業務関係経費					48,071	
		リサイクルステーション管理事業経費					2,816	
		生ごみ処理機器購入費補助金関連経費					663	
		その他の経費					0	

活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	市民一人あたりが1日に排出するごみの量	g	534	535	524	549	514	560		
	ごみ収集方法の周知世帯数	世帯	39,711	39,711	39,735	39,735	39,896	39,896		
	資源ごみ（プラ）収集運搬日数	日	24	24	24	24	48	48		
	資源ごみ（金属）収集運搬日数	日	24	24	24	24	24	24		

1年度決算(千円)	予算額		105,105	特定財源内訳及び補足事項						
	決算額		100,400	(そ) 古鉄売却代 4,900千円						
	財源の状況	国庫支出金	0	(そ) 古紙売却代 12,780千円						
		県支出金	0	(そ) ガラスびん売却代 34千円						
		地方債	0	(そ) ペットボトル再商品化還元金 2,588千円						
		その他	75,881	(そ) ごみ処理手数料 55,579千円						
一般財源		24,519								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)	
1	1	4	2	1	10	1	49,706	48,850	ごみ減量対策費	
2	1	4	2	1	10	2	51,355	50,887	容器包装リサイクル事業費	
3	1	4	2	1	10	3	4,044	663	生ごみ処理機器購入費補助事業費	
4										
5										
6										
7										
振り返り課題認識		稲葉クリーンセンターに搬入される燃やすごみの増加傾向は続いています。含まれている「紙類」と「プラスチック製容器包装」を資源として分別していただくよう、市民の皆さんの取り組みを進めていただく必要があります。								
上記の課題解決のための有効策		市民一人ひとりの分別への取り組みを高めていただくため、啓発を更に強化する必要があります。								
次年度に向けての取り組み		ごみ分別アプリの運用を開始し、幅広いライフスタイルに対応した3R啓発を進めます。また、広報いいだに特集記事を組み、同内容の映像コンテンツを制作してCATVで放送、さらにDVD化してそれぞれの地区でご活用いただくよう準備を進めます。								